

# 競技方法及び注意事項

## 競技方法

- 1 本大会の競技は、全日本アーチェリー連盟競技規則ターゲットアーチェリーラウンド及び当競技会申し合わせ事項により18mダブルラウンドで、リカーブ部門は40cm標的面（上下2段）、コンパウンド部門は三つ目標的面を使用していきます。
- 2 自由練習…2分2回 行射本数制限無  
A立（上の）2分・B立（下の）2分…矢取り  
C立（上の）2分・D立（下の）2分…矢取り  
B立（上の）2分・A立（下の）2分…矢取り  
D立（上の）2分・C立（下の）2分…矢取り
- 3 行射…2分3射 A立（上の）2分3射・B立（下の）2分3射…矢取り  
C立（上の）2分3射・D立（下の）2分3射…矢取り  
B立（上の）2分3射・A立（下の）2分3射…矢取り  
D立（上の）2分3射・C立（下の）2分3射…矢取りの繰り返し

コンパウンド部門は、A立は一番左の的を、B立は左から3列目の的を、C立は左から2列目の的を、D立は一番右の的を行射してください。

（上記2、3 については、参加人数により変更する場合があります。）

- 4 行射終了後は直ちにシューティングラインを離れて下さい。車椅子等の使用者はボウスリングを外して行射終了の意志表示をすること。
- 5 競技の進行は、ブザー又はホイッスルにより管理します。

## 注意事項

- 1 跳ね返り矢・貫通矢・ぶら下がり矢が生じた場合は、審判員に合図すること。
- 2 跳ね返り矢・貫通矢は、すべての穴に正確な印を的中孔に付けられていた場合のみ、採点の対象とします。的中孔の印は競技者自身で付けること。
- 3 跳ね返り矢でない限り、矢を落下させるか、発射ミスをした場合、その矢の一部がシューティングラインと3mラインの中にある場合再発射する事が出来る。
- 4 何等かの理由で行射が中断した場合、もしくは弓具トラブルが認められ、射ち残り矢がある場合、残り矢1本につき40秒の時間を与え、競技再開、もしくはエンド終了後に補充します。
- 5 採点は相互採点とし、得点の読み上げは矢の所有者が行い、記入は同的の選手が記入すること。  
記録した各矢の得点訂正は、相互採点の相手の選手に訂正してもらうこととする。

## 得点報告等

- 1 第1ゲーム（午前のゲーム）終了後に得点を集計してスコアカードを自分の立ち位置に置くこと。
- 2 競技終了後、得点を確認し、選手と採点者のサインの上、スコアカードを提出すること。

## その他

- 1 競技場（体育館）内では、体育館シューズを使用して下さい。（外履きは下駄箱が各自保管して下さい）
- 2 競技場内では禁煙です。飲食は定められた場所で適宜行って下さい。
- 3 貴重品・所持品等は各自で管理して下さい。
- 4 判らない事があれば審判員・スタッフにお尋ね下さい。
- 5 自分が出したゴミは、各自で処理していただきますよう、お願いいたします。
- 6 開閉会式、試合中に撮影した写真を広報等に利用させていただくことがあります。ご了承ください。